はじめに　　－　調査のねらいと概要　－

熊本市では、「協働と自主自立のまちづくり」の体制を掲げ、「市民参画・協働」の視点をもって、市の総合計画の推進や、施策の実施に取り組んでいます。

市民参画や協働の取り組みが重視されている背景には、地方分権により地域の特性にあった自治に取り組む時代になったことや、社会や人々のニーズが多様化、複雑化するなか、行政が行う従来の施策だけでは対応していくのが難しくなったという状況があります。
また、地域団体・ＮＰＯなどの市民活動団体が行う公益的な活動の活発化や、企業が行う社会貢献活動に関心が高まっており、これまで主に行政が担ってきた公共をさまざまな主体が協力して担う時代に変化しつつあります。

この調査は、第６次総合計画実施計画（H22）における細事業ごとに、「市民参画・協働の取り組み」の状況を調査したものです。
各施策における市民参画・協働の取り組みは、年々、確実に増加していますが、参画の手法や協働の形態はさまざまで、施策によっては、さらに効果的な取り組みを選択していくことで、施策の質と市民の満足度を一層高めることができると考えます。

この調査を行うことによって、本市の市民参画・協働の取り組みの現状を把握し、取り組みが行われていない施策への活用はもちろん、既に活用している施策についても、より質の高い施策を行うべく改善に取り組んでいきます。